

活動名	石川県珠洲市外浦での給水ボランティア
-----	--------------------

貢献・連携類型	1. 地域連携・協力
---------	------------

報告者	応用情報工学科	学科	職位	准教授	氏名	五味 悠一郎
-----	---------	----	----	-----	----	--------

概要（実施したこと、進捗状況等）について記述してください。

石川県珠洲市の日置地区と大谷地区にまたがる外浦では、令和6年能登半島地震により水道施設が甚大な被害を受け、令和6年9月時点でも一部地域で断水が続いていましたが、令和6年奥能登豪雨により、地震では断水しなかったエリアを含め広範囲で断水が発生しました。一般社団法人能登乃國百年之計の呼びかけにより、断水家屋に給水タンクを設置して屋外水栓と接続し、屋内水栓で生活用水を使えるようにした上で、毎日給水車で給水タンクに生活用水を補充する活動が開始されたことを受け、災害研究の社会実装として給水情報を管理するシステムを構築して運営し、ニーズを把握するために実際の給水活動も行いました。

【桜工 No. 107 令和7年3月25日発行】
https://www.koyukai-cst-nu.jp/ohko/cherry_107.pdf

また、給水車による給水活動は多数のボランティアが行うため、道路陥没や倒木など危険個所を迅速に把握する必要が生じ、研究の実証実験として路面状況の把握と公開も実施しました。

【奥能登（輪島市・珠洲市・穴水町・能登町）の路面状況 | 能登ステイ】
https://notostay.com/road_condition/

今後の展望、本活動で得られた成果を記述してください。

本活動によって、発災後の給水活動に関する多数の知見を得られ、災害研究の参考情報を集めることができました。被災者や支援者との繋がりも多数生まれるという成果もありました。給水ポイントは延べ50か所程度となり、その中には令和6年正月より断水が続いていた家屋も含まれ、やっと自宅で入浴や洗濯ができるようになったと、住民の方から多数の感謝のお言葉を頂戴でき、WINWINの関係となる良い活動だったと、実感しております。

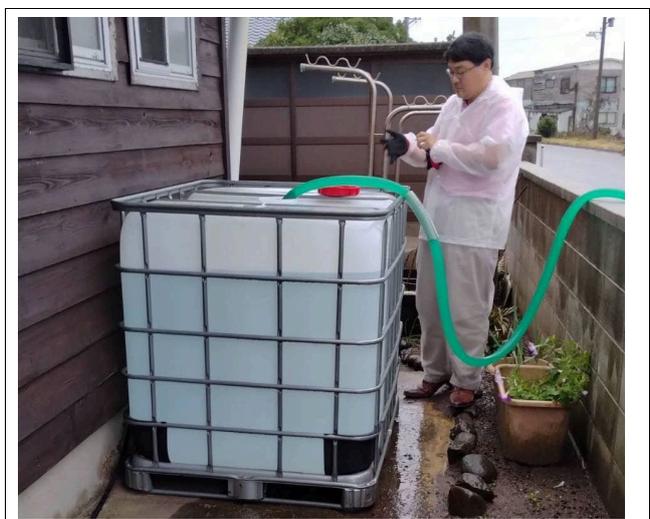
能登の復興に目処がつく（支援がなくても日常生活や経済活動が持続可能な状態になる）までは、災害の調査や実証実験などの研究活動を通じて、令和7年度以降も様々な方策で能登半島の支援を継続します。

対象・相手先	石川県珠洲市
--------	--------

協定書・依頼の有無（具体的に記入）
 一般社団法人能登乃國百年之計からの依頼

実施日時	令和6年9月～令和7年1月
------	---------------

場所	石川県珠洲市
----	--------



本学からの参加者
 応用情報工学科 五味悠一郎

